

## インターバンクの声（2016年11月8日）

4年に一度の米大統領選挙を目前に控え、米連邦捜査局(FBI)が民主党候補クリントン前国務長官の私用メール問題について訴追しないことを発表した。あまりにもあっけない幕引きのような気もするが、この発表を受けて共和党候補トランプ氏が当選する可能性は再び低下している。ただ選挙戦を通してのことだが、世論調査でトランプ氏を支持しているとは答え難い雰囲気も強いはずで、トランプ氏がクリントン氏に許している実際の支持率の差は公表されているほど大きくないのかも知れない。何よりも投票直前まで欧州連合(EU)残留派が優勢とされていた今年6月の英国国民投票の結果が「離脱」の決定となったのが記憶に新しく、クリントン氏の数ポイントのリードはとても安全圏とは言えそうもない。

それでも投資家のリスク回避姿勢が後退気味なのは明らかで、東京市場からの円売り傾向が海外市場でも継続、円相場も104円台中盤を中心にした値動きが続いた。下落が続いた米国株も大幅に反発しているが、こうした反応が続くかどうかは明日の日本時間昼過ぎになる予定の大統領選の結果次第だ。

---

提供：SBIリクイディティ・マーケット株式会社

お客様は、本レポートに表示されている情報をお客様自身のためにのみご利用するものとし、第三者への提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、複写もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容については万全を期しておりますが、その内容を保証するものではありません。また、これらの情報によって生じたいかなる損害についても、当社および本情報提供者は一切の責任を負いません。

本レポートに表示されている事項は、投資一般に関する情報の提供を目的としたものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資にあたっての最終判断はお客様ご自身でお願いします。